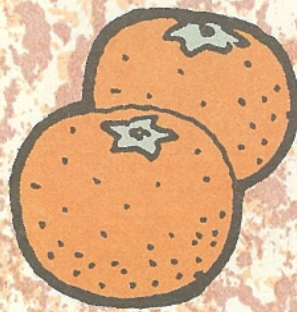


S O N A E R U

# そなえる

1993  
No.80



かわさき防災広報紙

1993年(平成5年)1月21日 発行  
発行所 川崎市  
編集所 土木局防災対策室  
〒210 川崎市川崎区宮本町1番地  
備える TEL (044)200-2111 内線2841

SERIES  
第4回

## ライフラインを守れ!

「生命を支える水」



臨時給水風景

災害対策用給水装置格納庫(ベンチ式)



「水道」が使えない生活など想像することさえできません。まして、水は人間の生命を支えるという意味では、私たちの生活の中で必要不可欠なライフラインといえます。

水道局では、地震などの災害時に備えて、水道施設の被害を最小限にいとめるため、主要な送・配水管については、鋼管又はダクタイル鉄管を使用するなど、施設の耐震性強化に努めています。例えば大正12年の関東大震災程度の地震が発生しても、主な送・配水管は損傷が少なく考えられます。

(災害時の給水対策)

もし、万が一、各家庭の水道が地震などで使用できなくなった時は、送・

配水管に設置している空気弁や消火栓を利用して、市内62箇所に臨時給水所を開設し、市民の皆さんに飲料水を供給します。これらの臨時給水所は、皆さんのお宅からおよそ一キロメートル以内のところにありますので、どこが一番近いか確かめておいてください。

また、臨時給水所まで来ることができない人たちが病院等については、可能な限り給水タンク車などにより運搬給水を行います。

(飲料水の汲み置き)

非常用の飲料水は、一人一日三リットルで三日分を目安に、ポリタンクなどに入れて、ふだんから用意しましょう。



災害対策用給水装置格納庫(タテ型)

### 臨時給水所

給水場所	所在地	目標
野川	野川3007の11	東急野川台団地 野川台西口バス停東側
有馬	有馬6丁目6の1	市営・東急バス・中有馬バス停
宮崎	宮崎3丁目5の15	宮崎台小学校東北東側
土橋	土橋3丁目1の1	水道局鷺沼プール南側
菅生	菅生6丁目33の15	雇用促進住宅西側道路
潮見台	潮見台3	潮見台浄水場東側
宮前区役所	宮前平2丁目20の5	宮前区役所構内

給水場所	所在地	目標
堰	堰3丁目3	久地駅前交差点北側
長尾	長尾6丁目21	産業医学総合研究所南側
栞形	栞形3丁目4の1	多摩警察署東側
菅	菅2丁目5の4	多摩警察署警派出所
菅馬場	菅馬場2丁目17の1	東菅小学校東側
三田	三田4丁目6の15	長沢浄水場北側
西生田	西生田1丁目15の5	高石歩道橋
西生田	西生田5丁目28	高石配水塔西側
多摩区役所	宿河原1丁目30の37	多摩区役所仮庁舎内

給水場所	所在地	目標
千代ヶ丘	千代ヶ丘6丁目14の7	小田急バス・千代ヶ丘バス停
万福寺	万福寺1丁目11	多摩オートセンター
東百合ヶ丘	東百合ヶ丘4丁目42の7	住友銀行百合ヶ丘支店
王禅寺	王禅寺106	東柿生郵便局
上麻生	上麻生1282	麻生消防署柿生出張所裏麻生川東側
白鳥	白鳥2丁目3の8	麗月ハイツ
黒川	黒川331	小田急バス・黒川分校バス停
岡上	岡上656	温室多摩植物園
麻生区役所	万福寺1丁目5の1	麻生区役所構内

給水場所	所在地	目標
都町	都町39の1	幸病院西側
小倉	小倉807	KKオクアキ資材置場西側
東古市場	東古市場1	御幸球場南側
南加瀬	南加瀬4丁目26の1	富士見堂文具店前
下平間	下平間1の2	市住宅供給公社鹿島田グリーンハイツ前
幸区役所	戸手本町1丁目11の1	幸区役所構内

給水場所	所在地	目標
上丸子山王町	上丸子山王町2丁目1369	上丸子山王町西交差点北西側
木月住吉町	木月住吉町2035	東住吉小学校前
木月	木月4丁目1256	木月陸橋熊ヶ谷タイル前
宮内	宮内70	三光ライト工業西側
下小田中	下小田中2丁目27の7	NHK中原南側
井田	井田850	交通局井田営業所前
中原区役所	小杉町3丁目245	中原区役所構内
木月住吉町	木月住吉町1957の1	中原平和公園内
宮内	宮内595	等々力緑地正面入口
下新城	下新城3丁目6の1	新城高校西側

給水場所	所在地	目標
北見方	北見方139	第3京浜道路下渡辺紙器製作所前
千年	千年574	千年交差点、千年派出所前
久末	久末637	水道局久末配水塔
溝口	溝口771	ニコン高津物流センター
新作	新作1丁目24の4	橋清掃場西側
高津区役所	溝口374	高津区役所構内

給水場所	所在地	目標
浮島町	浮島町7の1	東徳化学館前
千鳥町	千鳥2の1	昭和電工前
水江町	水江町3の3	東洋証券前
扇町	扇町2の5	昭和石油前
白石町	白石町5	旭工業前
江川	江川2丁目1の3	殿町小学校前交差点西側
観音	観音2丁目23の5	宮沢モータース前
浜町	浜町1丁目10の8	共同石油川崎オートガスサービスステーション前
富士見	富士見1丁目1の4	市体育館前
小田	小田1丁目9の17	小田1丁目中央公園前
国道15号	東田町8の14	川崎電話局前(国道15号)
国道15号	東田町11の27	新川橋病院前(国道15号)
国道15号	南町17	川崎警察署前(国道15号)
川崎市役所	東田町5の4	川崎市役所前
国道15号	堀の内10の14	職業安定所前(国道15号)

# 防災サバイバル教室

No.1

グラツンと来たそのあとで

腹がへっては〇〇ができて

温かいご飯を食べたいあなたに

災害が発生し、電気やガスが使えなくなったとき、ほとんどのご家庭では、日ごろ使っている調理器具が使えず、煮・炊・焼くことができなくなることでしよう。

そこで登場するのが、この誰にも簡単に作れる、「サ・ア・テ卓上コンロ」です。材料と作り方は、ご覧のとおりで、作り、使って、覚えておけば、非常時に役立つだけでなく、身の回りにある物を応用して非常時をしのぐ力も養えることでしよう。また、キャンプなどでも利用できますので、ぜひ皆さんもお試しください。

＜注意＞

●燃料は、揮発性が低く発火点の高いサラダオイルなどの食用油を使い、絶対に灯油やガソリンは使わないでください。

●小さな火でも、使っているときは、必ず大人の人がついていてください。

●缶の切り口で手を傷つけぬように注意してください。

●芯を長く出すと、ススが出ますので、2〜3mmが適当です。



このコンロで炊きあげたご飯

## サ・ア・テ たくじょう ふしぎな卓上コンロ

作るときに必要なもの

- ジュースなどの空き缶(アルミ缶が良い) 4個
- アルミホイル(芯たて用) 25cm×17cm
- ティッシュペーパー 1枚
- つまようじ 1本
- アルミホイル(風よけ用) 25cm×80cm
- セロテープ 少々
- はさみ(ふつうのはさみで良い) 1丁

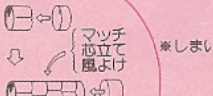
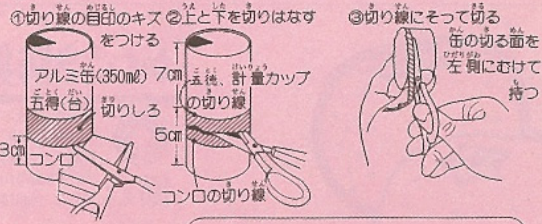
使うときに必要なもの

- サラダオイル 適量
- マッチ・ライター
- 金属製のおぼん 1枚

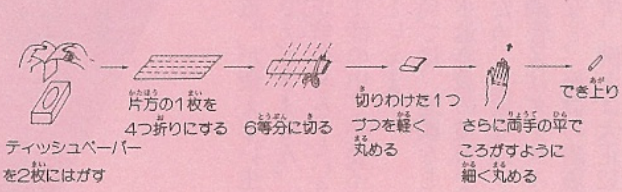
このコンロで作れるお料理の例

- クレープ 2分
- ステーキ 4〜10分
- 茶わんむし 30〜40分
- 白玉やき 4〜5分
- ミルクをわかす 3〜4分
- お餅を焼く 5〜10分
- 焼き肉 2〜3分
- ソーセージ炒め 2〜3分
- 炊き込みごはん 40分(3人分)

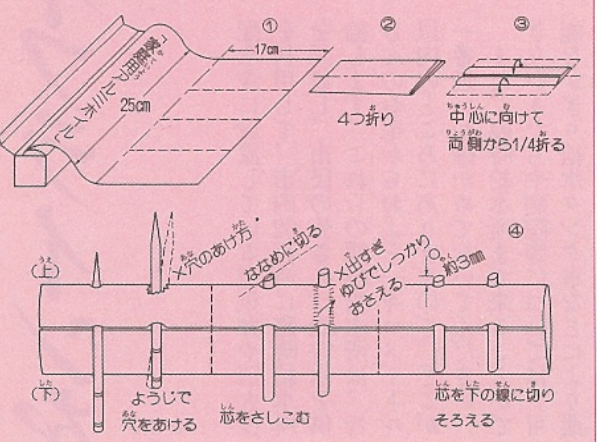
### 1.コンロ、台、計量カップの作り方



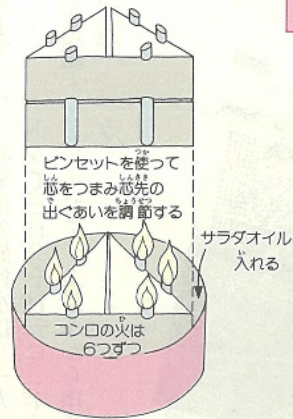
### 2.灯芯の作り方



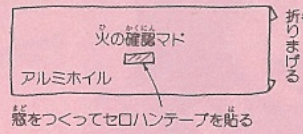
### 3.芯たての作り方



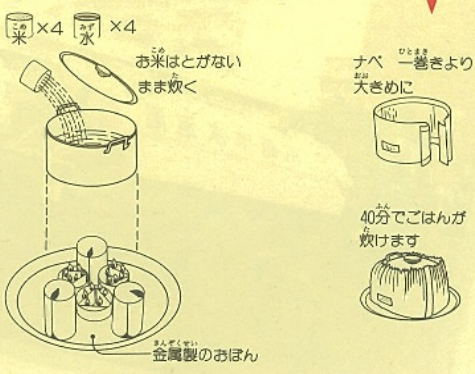
### 4.



### 5.風よけの作り方



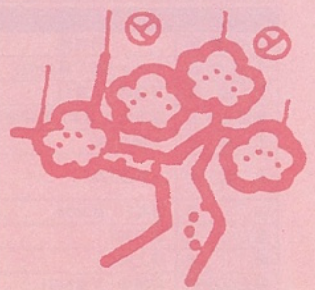
### 3人分のごはんを炊く時の例



＜資料提供＞財団法人 市民防災研究所 電話03-3582-1090

## 春の全国火災予防運動が

始まります。



川崎市内の8消防署は「春季火災予防運動」が始まる3月1日から3月7日までの1週間、消防訓練や防火パレードなどの行事を各所で実行します。皆さんもふるってご参加ください。

統一標語

「点検を 重ねて 築く 火災ゼロ」

火災の原因で多いのは、「放火」「たばこ」「こんろ」です。ご家庭でも次のことに注意して下さい。

☆「放火を防ぐ整理整頓」

●家のまわりや道路の上に、燃え易いものを置かない。

- ゴミは、指定された場所に朝出して夜には出さない。
- 物置や空家の戸締りを完全に閉めよう。
- ☆「確実に消そうとクマゴの火」
- 寝たばこやたばこの投げ捨てはしない。
- ☆「油断するな油の過熱」
- 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 離れる時は、必ず火を消す。

お問合わせは消防局、又は最寄りの消防署にご連絡下さい。

## 「ヘクトパスカル」って何でしょねん?

皆さんがテレビやラジオの気象情報でおなじみだった気圧を表す単位である「ミリバール(mb)」が、平成4年12月1日から、「ヘクトパスカル(hPa)」にかわりました。しかし、単位はかわっても、気圧の値そのものは同じです。

味を表し、「パスカル」とは、パスカルの法則で名高く、大気圧の存在を確認するなど、数学、物理学、哲学、宗教といった広い分野に業績を残した17世紀フランスの学者、ブレイス・パスカルにちなんでいます。

- 参考
- 1気圧≡1013・25mb≡101325hPa≡760mmHg

これは、昭和35年の国際度量衡総会で統一された圧力の単位は「パスカル(Pa)」と決定されており、WMO(世界気象機関)が昭和59年7月以降実用化を推進していたことから、日本でも昨年の台風シーズンを避けた12月1日より実施されました。



なお、「ヘクト」は、「百倍」の意